

あこがれの先輩と同じ賞に 研究に費やした時間が**自信**につながる

私の研究は、新型コロナウイルス感染症対策として教室の換気をしながら、夏場の冷房の効率の良い利用を実証することでした。教室の模型を作り、窓の開閉具合がもたらす、空気の流れを繰り返し検証しました。膨大な検証結果をまとめることに苦戦しながらも、先輩の春田さんの研究に打ち込む姿勢や研究結果を堂々と発表する姿が忘れられず、「私も」という気持ちで取り組むことができました。

研究に臨む前、私は人前で発言することが苦手でしたが、研究結果を発表する場を何度も経験する中で、少しずつ自分に自信が持てるようになりました。この経験を活かすために、今年から生徒会長にも就任しました。誰もが意見を気兼ねなく主張でき、生徒一人ひとりが自分のことだけでなく、他の人のことを考えて行動ができる学校づくりを目指して取り組んでいきたいと思っています。



山内 美琴さん

山内さんと鳥澤さんたちに研究に取り組んだことで自分に起きた変化や今後の学校生活への抱負を聞きました

入賞生徒に聞く 『研究が私を強くした』

どんなことにも**全力**投球を やり遂げた達成感は何にも変えがたい

私たちの研究は、自分たちが暮らす「三盃」の名前の由来である「盃3杯分の砂金が採れた」ことを実証することでした。

砂金をどのように採るか、どんな場所に堆積するかを調べ、実験を繰り返しました。大変な作業でしたが、仮説を基に、課題を解決するために様々な方法を模索する中で、「解決策は一つではない」ことに気が付きました。

これは、実生活にも言えることで、身の回りの問題を解決するためには何が必要なのかを考え、行動し、困難があっても全力で取り組む。そして何より、解決までの過程を楽しむことも大切なんだと気が付きました。

私たちは、来年高校生になりますが、研究を通して培った「粘り強さや挑戦を楽しむこと」を忘れずに、どんなことにも全力で打ち込んでいきたいと思っています。



鳥澤 光佑さん

鳥澤 圭佑さん

子どもたちに備わっている「学ぶ力」を いかに引き出すかが鍵

今回の本川根中学校の快挙には、町が取り組んできた「次世代教育」が大きく関わっています。

子どもたちはこの先、少子高齢化やグローバル化、人工知能をはじめとした科学技術の発展、昨今の新型コロナウイルス感染症のまん延など変化に富んだ時代を生き抜いていかなければなりません。また、そのような社会の中では、既存の知識は通用せず、自ら課題を見つけ他者と協働して問題を解決していく資質・能力が必要とされます。そのような新しい時代に必要となる資質・能力を育むためには、

様々な経験を通し、主体的に日常生活における課題を見つけ、解決に向けて他者と協働していく学習が大切になります。

そのためには、教員が子どもたち一人ひとりが「学び」に能動的になれるような態度を身につけさせると同時に、子どもの可能性を最大限引き出してあげるための授業改善が求められています。このため、町の教員は教育力を高めるため、日々研さんを積んでいます。変化に富んだ社会で多様な課題に対応するためには、「この方法しかない」という「唯一の正解」

を導くのではなく、立場や異なる価値観をもった相手との対話を通して、「みんなが納得する正解」や「問いへの多様なアプローチ」を探し、導き出した正解も状況に合わせて柔軟に修正していく対応が求められます。

町では本川根中学校だけでなく、他の小中学校でもこのような子どもたちの資質・能力を育む授業を展開しています。今後は、本川根中学校のみならず他の学校においても、学問分野にとどまらず、運動や芸術の分野においても秀でた成果を出す子どもが現れると思っています。

子どもたちは、教員の日々の学びに対する姿勢を見て、学習し育っていきます。町の教員の真摯な姿勢は必ずや子どもたちの学習成果に現れてくるでしょう。教育の成果は、一朝一夕には現れませんが、町の小規模校の良さを活かした教育に期待が高まっています。

これからの教育のあり方は

「子どもたちには生まれながらに学びたい欲求がある。その力を引き出すことが大切」と大橋教育長は話している。教員が主体的に学ぶ姿勢を見せることができれば、子どもは自然と学びを深めていくと続けます。

教育現場では今、昨年度から刷新された新しい学習指導要領に基づいて、子どもの「生きる力」を育むため、さらなる授業改善がなされています。本町でも、子どもは「町の宝」、その学びを支える教員は「町の財産」と言う理念に基づいて、「個々」に応じたきめ細やかな取り組みを行っています。子どもたちが主体的に学び、他者との関わりの中で成長し、問題解決能力を育むための教育を進化させていきます。

最後に教育長は「今の学校現場を皆さんに見に来て欲しい。学校は常に皆さんの参観をお待ちしている。教員たちの取り組む姿勢、子どもたちが生き生きと学ぶ姿を見に来て欲しい」と力強く話しました。

子どもたちは、未来への希望です。そんな子どもたちを地域全体で見守り、「教育」をしていくことが重要です。今の教育の現在地を実際に見に行つて、「教育」にどのような関われば良いのか考えてみませんか。



川根本町教育委員会
教育長 大橋 慶士